

壱岐から初記録となる蝶2種の記録

さかい 境 よしあき 良朗

壱岐において初記録と思われる蝶を採集・撮影しているので報告する。

1) ミヤマカラスアゲハ *Papilio maackii* Ménétrière, 1858

1♂ (写真1, 2), 長崎県壱岐市郷ノ浦町岳ノ辻, 7. VI. 2018, 筆者採集・保管

岳ノ辻は壱岐でもっとも高い山(標高213m)で、山頂には展望所が整備されている。この日、山頂の植え込みのツツジに訪れていたアゲハ類を撮影していたのだが、カラスアゲハにしては何となく違和感を覚える1頭が飛来した。ミヤマカラスアゲハは壱岐にはいないはずと思い、一瞬頭が混乱したが何とか数カット撮影し、その後採集することができた。この個体が偶産による単発個体なのか、一時的発生に由来するものなのか、あるいは既に定着しているのかはこの記録だけでは判断できない。

2) スジグロシロチョウ *Pieris melete* Ménétrière, 1857

1♀ (写真3), 長崎県壱岐市芦辺町男岳, 26. VII. 2018, 筆者撮影

本種については、梅野(1930)に「スジグロテフ 石橋国丸氏採集」としてヒメシロチョウ、ツマキチョウとともに壱岐に産することが記載されているが、採集地・採集年月日など具体的なデータは示されていない。その後の追加記録はなく、記録そのものが疑問視されたのか、江島ほか(1973)では、「壱岐では明らかに産しないようである」とされ、江島・浦川(1977)では蝶類リストから除外されている。さらに、浦川(1994)では引用に際して疑問がある種として扱われている。男岳(標高168m)にある男岳神社へ続く山道で弱々しく飛翔する本種を発見し撮影したが、あいにく網を持っていなかったので採集できなかった。かなり厳しい生息状況ながらも壱岐で発生し続けている可能性がある。

最新の壱岐の蝶相を総括的にまとめたものとしては、山下(2010)と植村・青嶋(2017)がある。前者は壱岐の既産種52種(土着種45種、迷蝶7種)を列挙し、後者は壱岐の既産種を分布表に示しているが、いずれにもミヤマカラスアゲハとスジグロシロチョウは含まれていない。

この2種については今後も動向を注視していくつもりだが、壱岐に調査に行かれる同好諸氏にも注意を払っていただければ幸いである。

報告にあたり、文献の提供をはじめ貴重な助言をいただいた岸田泰則、里中正紀、矢後勝也の各氏にお礼申



写真1. ミヤマカラスアゲハ (長崎県壱岐市産)

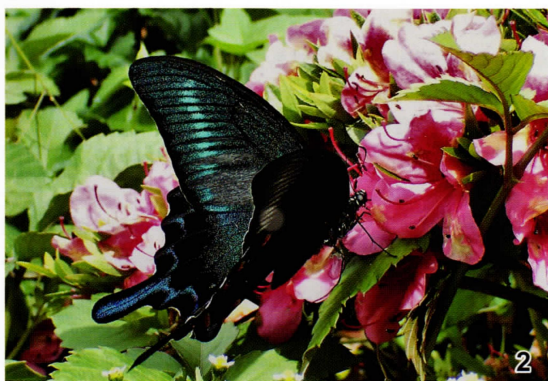


写真2. ツツジに訪花したミヤマカラスアゲハ (長崎県壱岐市産)

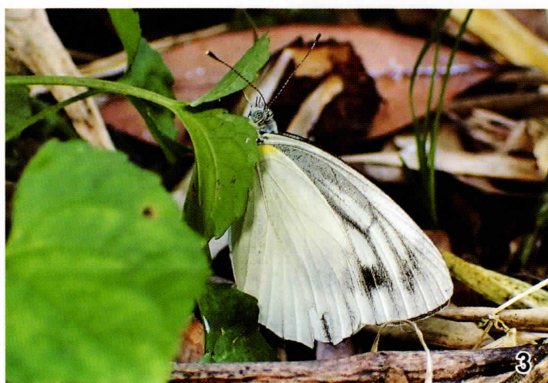


写真3. スジグロシロチョウ (長崎県壱岐市産)

江島正郎・浦川虎郷, 1977. 壱岐の蝶相. 壱岐の生物: 409-420.

植村好延・青嶋健文, 2017. 日本産蝶類分布表. やどりが (254): 18-31.

梅野 明, 1930. 壱岐の蝶類. *Zephyrus* 2(4): 254-256.

浦川虎郷, 1994. 壱岐島動物目録: 55-56. 壱岐「島の科学」研究会.

山下又幸, 2010. 壱岐の蝶相. かみつけ (4): 35-36.

し上げる。

○引用文献

江島正郎ほか, 1973. 長崎県の蝶: 86. 長崎県生物学会・長崎昆虫同好会.